



2025年1月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月30日

上場会社名 株式会社ACCESS 上場取引所 東
コード番号 4813 URL <https://www.access-company.com>
代表者（役職名） 代表取締役 社長執行役員（氏名） 大石 清恭
問合せ先責任者（役職名） 執行役員 CFO（氏名） 岡田 充弘（TEL）03-6853-9088
半期報告書提出予定日 2024年9月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）
(百万円未満切捨て)

1. 2025年1月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年2月1日～2024年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年1月期中間期	8,059	19.6	△650	—	△321	—	△458	—
2024年1月期中間期	6,738	31.1	△1,125	—	△1,033	—	△1,087	—

(注) 包括利益 2025年1月期中間期 774百万円(—%) 2024年1月期中間期 △205百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年1月期中間期	△12.19	—
2024年1月期中間期	△29.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年1月期中間期	30,238	23,626	78.0
2024年1月期	27,281	22,615	82.8

(参考) 自己資本 2025年1月期中間期 23,587百万円 2024年1月期 22,575百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年1月期	—	0.00	—	—	—
2025年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年1月期の連結業績予想（2024年2月1日～2025年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	11.6	500	—	450	—	210	—	5.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年1月期中間期	39,962,100株	2024年1月期	39,806,000株
② 期末自己株式数	2025年1月期中間期	2,354,570株	2024年1月期	2,212,255株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年1月期中間期	37,612,791株	2024年1月期中間期	37,484,783株

・自己株式数については、株式給付信託口が所有する当社株式(2025年1月期中間期:366,700株、2024年1月期:404,800株)を含めて記載しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社および当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当社グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結包括利益計算書	
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年2月1日~2024年7月31日)における世界経済は、サービス価格の上昇がディスインフレーションの進展を妨げており、貿易摩擦の懸念や資源・エネルギー価格高騰の長期化も相まって、金融政策の正常化を複雑にしており、景気の下振れリスクも懸念されています。

IT情報サービス産業においては、引き続きDX化の推進とそれに伴うIT投資への意欲も旺盛ではあるものの、先行き不透明な世界的な景況感もある中で、一部企業においては投資判断に慎重な姿勢も見受けられます。

このような環境下において、当社グループはネットワーク事業を注力分野に据え、ホワイトボックス市場における更なる事業規模の拡大やIoT事業・Webプラットフォーム事業の安定化に取り組んでおります。当中間連結会計期間においては、主にネットワーク事業において第3四半期以降で売上計上を見込んでいた案件の一部を前倒して計上したこともあり、前年同期と比較して増収となり、それに伴い損益も改善しております。

以上の結果、当中間連結会計期間における連結業績は、売上高80億59百万円(前年同期比19.6%増)、営業損失6億50百万円(前年同期は営業損失11億25百万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

○ IoT事業

通信技術、クラウド技術、アプリ開発力、センシング技術等をワンストップで提供できる強みを活かし、企業のいかなるDX需要にも対応できるIoTプロフェッショナルサービスや、自社開発の各種IoTソリューションを主軸に事業展開しております。また、アジア地域に進出する日本の通販事業者向けに、オムニチャネルでの販路拡大機能と物流等のバックオフィス機能を統合した業務支援クラウドサービス「CROS®」の提供を行っております。

当中間連結会計期間につきましては、前年度電子出版事業の譲渡による減収があったものの、主力であるIoT分野では引き続き通信業、建設業、及び各種インフラ業等における旺盛な各種DX投資需要を背景に位置情報の利活用やエネルギーマネジメント等に関連するプロフェッショナルサービス案件が堅調に推移し、売上高・セグメント損益はともに前年同期比で増収増益となりました。

IoT事業	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前年同期比
外部顧客への売上高	2,520百万円	2,707百万円	7.4%
セグメント損益	△42百万円	44百万円	—

○ Webプラットフォーム事業

ドイツ・中国・韓国に設置している現地法人と連携し、国内外の市場においてスマートデバイス、情報家電や各種デバイス向けに豊富な搭載実績を持つ高性能・高機能ウェブブラウザ「NetFront® Browser」シリーズをはじめとした組み込みソフトウェア製品を提供しており、グローバルでのシェア拡大を推進しております。また、中長期的な成長施策としてTV・放送及び車載インフォテインメント用途向けにコンテンツや動画の配信システム・サービスプラットフォームの事業育成を図っております。

当中間連結会計期間につきましては、一部顧客において案件の進捗に伴う売上計上時期の変化もあった一方、国内における車載向けブラウザ案件が堅調に推移した影響もあり、前年同期比で売上高は横ばい、セグメント損益は改善いたしました。

Webプラットフォーム事業	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前年同期比
外部顧客への売上高	942百万円	940百万円	△0.1%
セグメント損益	△144百万円	△126百万円	—

○ ネットワーク事業

米国子会社IP Infusion Inc. を中核としてインドやカナダ等に開発拠点を設置しており、ネットワーク機器向け基盤ソフトウェア・プラットフォームの開発・提供から事業をスタートして現在はホワイトボックス向け統合Network OS「OcNOS®」の事業拡大に注力しております。ホワイトボックスは、更なる通信トラフィックの増加が見込まれる中、データセンター事業者、通信キャリア、IXP (インターネット相互接続ポイント) 事業者等においてネットワークインフラ設備投資・運用コストを大幅に低減しつつ運用の自由度を高める有力な手段と目されており、世界的に市場が拡大しつつあります。この様な環境の中、IP Infusion Inc. では通信事業者向けのCSR (Cell Site Router) やデータセンター、光転送システム (Routed Optical Networking)、ブロードバンドアグリゲーション等の多用途に対応可能なホワイトボックスソリューションを展開しております。また世界各地域において有力な事業基盤を有する大手ディストリビューターやグローバルSierとの提携を通じ、通信事業者へのホワイトボックスソリューションやサポート等の安定的な提供に取り組んでおります。

当中間連結会計期間につきましては、「OcNOS®」における新規顧客獲得やリピート受注が概ね想定に沿って推移したほか、特に第3四半期以降で売上計上を見込んでいた案件の一部を前倒しで計上したこともあり、前年同期比で増収増益となりました。

ネットワーク事業	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前年同期比
外部顧客への売上高	3,276百万円	4,410百万円	34.6%
セグメント損益	△940百万円	△575百万円	—

なお、営業外収益として為替差益2億41百万円、持分法による投資利益34百万円を計上しております。

以上の結果、当中間連結会計期間における連結業績は、売上高80億59百万円 (前年同期比19.6%増)、営業損失6億50百万円 (前年同期は営業損失11億25百万円)、経常損失3億21百万円 (前年同期は経常損失10億33百万円)、親会社株主に帰属する中間純損失4億58百万円 (前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失10億87百万円) となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少した一方、受取手形、売掛金及び契約資産やソフトウェアの増加等により、前連結会計年度末に比べ29億56百万円増加して302億38百万円となりました。

負債は、買掛金が減少した一方、その他流動負債の増加等により、前連結会計年度末に比べ19億45百万円増加して66億11百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加12億25百万円、親会社株主に帰属する中間純損失4億58百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末に比べ10億11百万円増加して236億26百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年1月期の連結業績予想につきましては、本日公表の「為替差益 (営業外収益) の計上に関するお知らせ」に記載の変動要因等を総合的に勘案し、2024年3月15日公表の2024年1月期決算短信から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (2024年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,919,253	10,198,629
受取手形、売掛金及び契約資産	7,529,270	9,120,737
商品及び製品	115,527	124,357
仕掛品	120,743	154,409
その他	758,075	1,649,033
貸倒引当金	△15,084	△55,922
流動資産合計	19,427,785	21,191,244
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	378,390	401,794
減価償却累計額	△260,798	△291,052
建物及び構築物 (純額)	117,592	110,742
工具、器具及び備品	1,675,279	1,921,968
減価償却累計額	△1,269,416	△1,497,433
工具、器具及び備品 (純額)	405,863	424,534
リース資産	3,602	3,602
減価償却累計額	△3,482	△3,602
リース資産 (純額)	120	-
使用権資産	576,775	887,864
減価償却累計額	△415,345	△532,247
使用権資産 (純額)	161,429	355,617
有形固定資産合計	685,005	890,894
無形固定資産		
ソフトウェア	5,467,925	6,333,519
のれん	370,179	308,732
その他	127,347	95,403
無形固定資産合計	5,965,452	6,737,656
投資その他の資産		
投資有価証券	698,804	715,863
繰延税金資産	146,476	144,341
その他	458,860	666,612
貸倒引当金	△100,630	△108,501
投資その他の資産合計	1,203,510	1,418,316
固定資産合計	7,853,968	9,046,866
資産合計	27,281,754	30,238,111

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年1月31日)	当中間連結会計期間 (2024年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	552,097	327,097
未払法人税等	9,910	57,508
賞与引当金	226,506	247,232
受注損失引当金	67,581	101,467
株式給付引当金	20,754	24,534
資産除去債務	1,571	-
訴訟損失引当金	5,218	5,724
その他	3,074,565	5,075,288
流動負債合計	3,958,206	5,838,853
固定負債		
繰延税金負債	3,648	3,578
退職給付に係る負債	208,455	219,126
株式給付引当金	8,972	8,972
資産除去債務	97,810	98,928
その他	389,141	441,991
固定負債合計	708,027	772,598
負債合計	4,666,233	6,611,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,072,141	17,179,615
資本剰余金	12,204,545	12,312,020
利益剰余金	△4,569,758	△5,028,078
自己株式	△1,533,797	△1,511,646
株主資本合計	23,173,130	22,951,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85,753	93,509
為替換算調整勘定	△683,163	541,925
その他の包括利益累計額合計	△597,410	635,435
新株予約権	39,312	39,312
非支配株主持分	487	-
純資産合計	22,615,520	23,626,659
負債純資産合計	27,281,754	30,238,111

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
売上高	6,738,146	8,059,081
売上原価	4,578,970	4,955,983
売上総利益	2,159,175	3,103,098
販売費及び一般管理費	3,285,083	3,753,949
営業損失(△)	△1,125,907	△650,850
営業外収益		
受取利息	11,654	14,479
持分法による投資利益	25,974	34,011
為替差益	53,450	241,254
還付消費税等	109	-
その他	4,047	41,114
営業外収益合計	95,236	330,859
営業外費用		
支払利息	1,703	930
投資事業組合運用損	846	314
その他	46	-
営業外費用合計	2,595	1,245
経常損失(△)	△1,033,266	△321,236
特別利益		
固定資産売却益	-	1,903
特別利益合計	-	1,903
特別損失		
固定資産除却損	22	341
特別退職金	20,494	-
事業撤退損	-	5,910
特別損失合計	20,516	6,252
税金等調整前中間純損失(△)	△1,053,782	△325,585
法人税、住民税及び事業税	44,114	133,770
法人税等調整額	△7,558	△548
法人税等合計	36,556	133,222
中間純損失(△)	△1,090,339	△458,807
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△2,845	△487
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△1,087,493	△458,320

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
中間純損失 (△)	△1,090,339	△458,807
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,195	7,756
為替換算調整勘定	868,446	1,225,089
その他の包括利益合計	884,642	1,232,845
中間包括利益	△205,697	774,038
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△203,293	774,525
非支配株主に係る中間包括利益	△2,403	△487

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失 (△)	△1,053,782	△325,585
減価償却費	1,392,026	1,896,562
のれん償却額	89,568	96,823
受取利息及び受取配当金	△11,654	△14,479
持分法による投資損益 (△は益)	△25,974	△34,011
投資事業組合運用損益 (△は益)	846	314
支払利息	1,703	930
為替差損益 (△は益)	△68,540	△271,413
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△1,903
固定資産除却損	22	341
事業撤退損	-	5,910
特別退職金	20,494	-
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	492,594	△783,166
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△14,198	△46,553
前払費用の増減額 (△は増加)	△46,969	△50,405
長期前払費用の増減額 (△は増加)	25,904	1,690
未払又は未収消費税等の増減額	△17,459	△46,928
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,216	38,354
仕入債務の増減額 (△は減少)	154,561	△268,415
賞与引当金の増減額 (△は減少)	35,442	△3,280
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	5,860	34,749
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	20,974	25,951
未払金の増減額 (△は減少)	△67,156	△99,881
未払費用の増減額 (△は減少)	3,991	△277,275
契約負債の増減額 (△は減少)	△16,070	2,020,903
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20,112	10,671
その他	149,974	△924,977
小計	1,088,057	984,929
利息及び配当金の受取額	33,528	41,142
利息の支払額	△1,703	△964
法人税等の支払額	△34,955	△47,825
法人税等の還付額	60,113	1,966
特別退職金の支払額	△68,040	△29,927
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,077,000	949,320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△359,314	△268,199
定期預金の払戻による収入	32,242	388,572
有形固定資産の取得による支出	△163,551	△113,054
有形固定資産の売却による収入	-	1,996
無形固定資産の取得による支出	△1,489,674	△1,962,507
投資有価証券の取得による支出	-	△530
投資事業組合からの分配による収入	919	-
敷金保証金の払込による支出	△1,758	△78,221
敷金保証金の回収による収入	1,488	722
関係会社株式の売却による収入	-	190,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,979,647	△1,840,853

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△20
配当金の支払額	△20	△1
その他	△13,466	△44,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,486	△44,172
現金及び現金同等物に係る換算差額	273,532	279,608
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△642,601	△656,096
現金及び現金同等物の期首残高	11,584,273	10,310,348
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,941,672	9,654,251

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2023年4月27日開催の取締役会決議により、2023年5月26日付で譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行を行い、当中間連結会計期間において、資本金が72,141千円、資本剰余金が72,141千円それぞれ増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において、資本金が17,072,141千円、資本剰余金が12,204,545千円となっております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2024年4月26日開催の取締役会決議により、2024年5月24日付で譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行を行い、当中間連結会計期間において、資本金が107,474千円、資本剰余金が107,474千円それぞれ増加しております。

この結果、当中間連結会計期間末において、資本金が17,179,615千円、資本剰余金が12,312,020千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	IoT事業	Webプラット フォーム事業	ネットワーク 事業			
売上高						
ライセンスの販売	128,050	436,461	2,767,825	3,332,337	—	3,332,337
サービスの提供	2,299,701	505,551	420,958	3,226,211	—	3,226,211
その他	92,284	92	87,220	179,597	—	179,597
顧客との契約から 生じる収益	2,520,035	942,105	3,276,005	6,738,146	—	6,738,146
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	2,520,035	942,105	3,276,005	6,738,146	—	6,738,146
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	47,827	646	—	48,474	△48,474	—
計	2,567,863	942,752	3,276,005	6,786,620	△48,474	6,738,146
セグメント損失(△)	△42,033	△144,670	△940,793	△1,127,497	1,589	△1,125,907

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額1,589千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年2月1日 至 2024年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	IoT事業	Webプラットフォーム事業	ネットワーク事業			
売上高						
ライセンスの販売	93,164	464,722	3,339,259	3,897,146	—	3,897,146
サービスの提供	2,511,823	476,146	970,108	3,958,078	—	3,958,078
その他	102,490	—	101,365	203,856	—	203,856
顧客との契約から生じる収益	2,707,478	940,868	4,410,734	8,059,081	—	8,059,081
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,707,478	940,868	4,410,734	8,059,081	—	8,059,081
セグメント間の内部売上高又は振替高	37,708	1,280	—	38,989	△38,989	—
計	2,745,187	942,149	4,410,734	8,098,071	△38,989	8,059,081
セグメント利益又は損失(△)	44,580	△126,939	△575,572	△657,931	7,081	△650,850

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額7,081千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。